

“サローネ・マスター”が選ぶ 今気になる椅子とは？

毎年ミラノ・サローネを訪れ、
星の数ほどの椅子をチェックする
デザインのプロ3人に、今いちばん気になる
椅子を教えてくださいました。



「ジャスパー・モリソンと、今注目の若手日本人デザイナー熊野亘がデザインを手がけた一脚がついに日本上陸。フィンランドのニカリ社の毎月新作を一脚ずつ発表するプロジェクトで12月に発表されたから『ディセンバー』という名のこの椅子は、どんな空間にもなじみやすく、ラウンジチェアとしての座り心地もいいですね」

Nikari December

>>> 青木昭夫 クリエイティブディレクター

「ディセンバー」
(W54×D55×H66×SH35cm)
10万5,000円
(スツールは別売り8万4,000円) /
アクタス



Roche Bobois Traveler

>>> 土田貴宏 デザインジャーナリスト

「トラヴェラー」
(W121×D126×H116cm)
<http://www.roche-bobois.com/>

「この椅子のコンセプトは名前のとおり“旅”。疲れた体を預けるのにふさわしいサイズやプロポーションと、クラフト感のある構造による身軽な印象のバランスが独特だなと感心しています。欧米以外にも多くの国で活動している、スティーブ・パークスらしいこなれた折衷感もさすが。自宅にいなながら旅を感じられそうです」

Paola Lenti Portofino

>>> 森山善之 建築設計事務所パケラッタ代表

「ポルトフィーノ」
(W59×D52×H79×SH46cm)
57万円～ / アルフレックスジャパン



「パオラ レンティのアウトドア家具はクオリティが高く、明るく楽しくなるような色が選べるので自分のプロジェクトでもよく使います。この『ポルトフィーノ』は、ミラノ・サローネで見たのですが、クオリティが高いのにカジュアル。持ち運びも簡単にできて、とてもいいなって思いました。色のバリエーションも豊富です」

Ad Core Divise

American Georgian Chair

エーディコア・ディバイズの「アメリカンジョージアンチェア」は丈夫なホホワイトオーク材をフレームに使用。スリッパカバーも用意されていて、豊かな変化のあるインテリアシーンを楽しめる。「アメリカンジョージアンチェア」(W60×D59.4×H90×SH45cm) 8万2,000円～ / エーディコア・ディバイズ



サローネよりもひと足お先に！ 2015年発表の注目チェア

4月のミラノ・サローネを待たずして現れた今年発表されたばかりの新作椅子の中から木のフレームが特徴的な3脚をピックアップ。ニューフェイスをチェックしよう！



Matsuso T Wafer

クラウン・コイヴィスト・ルーネがデザインしたMATSUSO Tの「ウエファー」はその名のとおりウエハースのような縞模様。広島府の府中家具職人の高い技術で、2種類の木が滑らかに組み合わされている。「ウエファー」(W48×D48×H80×SH45cm) 今秋発売予定 / MATSUSO T



Gervasoni Brick 307

ジェルバゾーニの「ブリック」シリーズにロッキングチェアが登場！パオラ・ナヴォーネは着脱可能なファブリックカバーのシートに、アメリカンウォールナット製のシックな脚を採用した。脚の色は5色展開。「ブリック 307」(W73×D112×H87×SH54cm) 39万2,000円～ / ジェルバゾーニトーキョー

